

会議名	第1回MINATOビジョン策定支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和6年12月25日（水曜日）午後3時から午後4時まで
開催場所	港区役所915会議室
委員	出席者5名 岡本 多喜子 委員長（明治学院大学名誉教授） 荒川 正行 副委員長（港区企画経営部長） 岡本 三彦 委員（東海大学政治経済学部教授） 小松 尚平 委員（一般社団法人デザインシップ理事） 中村 ゆかり 委員（港区芝浦港南地区総合支所協働推進課長）
事務局	企画経営部企画課長、企画担当係長、企画担当
会議次第	1 開会 2 委員長・副委員長の選出について 3 選考委員会選考スケジュール（案）について 4 MINATOビジョンの体系について 5 事業候補者募集要項（案）について 6 採点基準表（案）について 7 閉会
配付資料	<配付資料> 資料1 MINATOビジョン策定支援業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 資料2 MINATOビジョン策定支援業務委託事業候補者選考委員会委員名簿 資料3 選考委員会選考スケジュール（案） 資料4 MINATOビジョン策定支援業務委託事業候補者募集要項（案） 資料4-2 仕様書（案） 資料4-3 参考資料 MINATOビジョンの策定に向けた方向性 資料4-4 様式1から様式10（案） 【様式1】質問書 【様式2】参加表明書兼参加資格審査申請書 【様式3】共同事業体構成書 【様式3-2】共同事業体協定書兼委任状 【様式3-3】委任状 【様式4】事業者概要及び業務実績 【様式5】業務従事予定者の経歴及び専任性 【様式6】業務従事予定者の配置計画及びスケジュール 【様式7】企画提案書① 【様式8】企画提案書②

	<p>【様式9】企画提案書③</p> <p>【様式10】プロポーザル参加辞退届</p> <p>資料5 MINATOビジョン策定支援業務委託事業候補者選考基準（案）</p> <p>資料6 採点基準表（一次審査）（案）</p> <p>資料6-2 採点基準表（二次審査）（案）</p>
会議の内容	
事務局	<p>【1 開会】</p> <p>（事務局から資料確認）</p> <p>（委員・事務局自己紹介）</p>
A委員	<p>【2 委員長・副委員長の選出について】</p> <p>過去2回の港区基本計画策定・改定時にプロポーザルの選考委員を務めた経験があり、区の個別計画である港区地域保健福祉計画の検討にも携わるなど、区の計画に精通しておられる岡本多喜子委員を推薦する。</p> <p>（異議なし）</p> <p>岡本多喜子委員が委員長に就任。</p>
委員長	<p>副委員長については、区の契約手続きを把握している区職員であるとともに、本業務の主管であり、港区基本構想及び港区基本計画策定の実務を担当している企画経営部長が担うことが望ましいと考え、荒川委員を指名する。</p> <p>荒川委員が副委員長に就任。</p>
事務局	<p>【3 選考委員会選考スケジュール（案）について】</p> <p>（事務局から資料3について説明）</p> <p>（質疑応答）</p>
B委員	<p>令和7年1月31日に採点書類及び応募書類を委員宛てにメールで送信するということだが、容量が大きい場合は受け取れない可能性がある。また、採点期間が短いため、提出があった事業者から順次送付してもらうことはできないか。</p>
事務局	<p>メールでの送信を前提とするが、状況に応じて紙での持参等も含めて、送付方法はご相談する。また、処理が完了したものから順次送信できるようにする。</p>

事務局	<p>【4 MINATOビジョンの体系について】  (事務局から資料4-3について説明)  (質疑応答)</p>
B委員	<p>現在の実施計画が分野計画になるということか。</p>
事務局	<p>現在の港区基本構想、港区基本計画、港区実施計画までを含めたものをMINATOビジョンとし、福祉や子どもなど各分野の幅広い方向性をまとめたものを分野計画とする。さらに、より詳細な分野の計画については個別計画とする。</p>
事務局	<p>【5 事業候補者募集要項(案)について】  【6 採点基準表(案)について】</p>
事務局	<p>(事務局から資料4～資料6-2について説明)  (質疑応答)</p>
B委員	<p>プレゼンテーションの説明時間について、5分は短いように感じるが、どのような理由があるのか。</p>
事務局	<p>二次審査においては新たな資料の提出はなく、委員の皆様においては一次審査で資料を確認しているところであるため、プレゼンテーションの説明時間よりも質疑応答に時間を多く配分をした。時間が短いのではという意見もあったため、時間配分についてはこの場で意見をいただいて修正を行いたい。</p>
A委員	<p>質疑応答が25分であるため、各委員が5分ずつ割り振られているものと思われるが、この5分を1分ずつ短くして説明時間を10分にしたらどうか。</p>
C委員	<p>他の選定事業では、説明には大体8分くらいの時間がかかった。本件は難しい内容かと思うので、10分が適切ではないかと考えている。</p>
B委員	<p>質疑応答を5分短くして全体で30分にするのか、それとも全体を延ばして35分にするのか、どちらにするか。</p>
D委員	<p>きっちり30分というかたちではなく、事業者には事前に目安の説明時間を伝えただけで、全体でおおよそ30分にはいかがか。</p>
委員長	<p>説明時間は10分、全体でおおよそ30分に収めるというかたちに修正を行うこととする。</p>

B委員	<p>タウンフォーラムについて、グループ1子ども・子育てやグループ7教育に関して、いじめの問題も含めて、障害のある子どもたちのことも考えてもらえるような記載にしてほしい。</p> <p>障害のあるなしに関わらず、全て含めて子育てや保育そして教育であると考えているため、誤解の無いように記載を修正することとする。</p>
D委員	<p>審査の配点に関して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区内事業者を5%の加点とすること</li> <li>・第一次審査と第二次審査のそれぞれの満点の60%を通過基準点とすること</li> <li>・第一次審査と第二次審査の配点比率をおおよそ2:1とすること</li> </ul> <p>について基準や根拠はあるか。</p>
事務局	<p>区の契約管財課が作成するプロポーザルのマニュアル通りの基準としている。配点比率2:1についても、マニュアル通りではあるが、プレゼンテーション技術の良し悪しに重きを置くのではなく、提出された書類の内容に重きを置くということで考えている。</p>
D委員	<p>区の基準に沿ってやっているということで理解をした。</p>
E委員	<p>先ほどB委員からお話があったタウンフォーラムにおける障害者の視点は重要だと考える。まちづくりにおけるハード面でのバリアフリーや災害時の要配慮者の観点などもあるため、記載の仕方を工夫して全体の分野に障害者の視点を取り入れられるようにしてほしい。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいたとおり、グループ1からグループ7まで、全体を通して障害者の観点を取り入れたい。</p>
E委員	<p>外国人の観点も必要ではないか。港区において外国人の人口は年々増えており、現在は人口の8~9%が外国人である。2040年台を見据えてということであるため、今後の増加も見据えて外国人の観点も入れるべきと考える。</p>
D委員	<p>外国人の観点は障害者と同様に、全ての分野に関わってくるのではないか。</p>
事務局	<p>外国人の観点も含めて、共生社会ということ意識して、全体を補完できるよう、文言の修正を行う。また、タウンフォーラムではこういった観点も含めて、議論していただけるようにする。</p>

B委員	大使館で務めているような方や海外から働きに来られている方など、様々な外国人が暮らしているという港区の特徴をうまく統合できるよう考えてほしい。
事務局	そのような観点も含めて修正を行う。
C委員	来年は戦後80周年かつ港区の平和都市宣言40周年ということもあり、戦災や平和教育の観点を防災か地域振興、教育のいずれかに入れてもよいのではないか。
事務局	その観点も踏まえて修正を行う。
委員長	これまでの意見を踏まえてタウンフォーラムに係る記載を修正することとする。
B委員	これだけの事業を請け負える事業者は大手企業しか無いように思うが、中小企業は担えるものか。
C委員	事業者が国や自治体などの行政の業務を請け負うことは増えている。調査能力の高いデザイン会社なども出てきている。
E委員	事務局には幅広い事業者にアナウンスをしてもらいたい。
C委員	別のプロポーザル対象事業では、大手企業ではない事業者が選ばれており、プレゼンテーションを通じて、事業者の情熱などは伝わるのではないかと思う。そこで判断をいただければよいと考える。
B委員	業務内容が多々あるので、大手企業にしか担えないのではないかという不安がある。
C委員	専門分野が多岐に渡るため、タウンフォーラムは大手企業ではないと難しいのではないかと思う。
D委員	この事業は事業者に全てお任せということではなく、区のサポートをしてもらうということではないのか。
事務局	区が主となり、区ができない部分であるファシリテートの部分などを支援し

	<p>ていただく。最終的には区がとりまとめる。</p>
D委員	<p>個別の部分で事業者の弱い部分も出てくると思うが、そのような部分は区が主導で行うということでしょうか。</p>
事務局	<p>弱い部分があれば、区と一緒に取り組んでいく。</p>
B委員	<p>区がサポートしていくということもあるが、全体としてこの事業者任せればうまくまとまっていくという視点で審査をすればよいか。</p>
事務局	<p>タウンフォーラムについては、各分野の所属長も同席するため、事業者については、その場をうまく回すことができるかという観点で、事業者を選定していただきたい。</p>
委員長	<p>予定された内容は終了した。最後に、事務局から連絡事項をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局から連絡事項) 修正文言については、委員長一任とし、確定した修正版データは、委員の皆様へ送付することとしたい。</p>
委員長	<p>(異議なし) 委員長一任とすることとする。</p>
事務局	<p>応募事業者の提出書類は、令和7年1月31日を目途にメールで送信するが、容量によっては別途ご相談をする。また、メールの確認漏れがないよう、送信後には各委員にアナウンスを行う。</p> <p>第2回選考委員会については、令和7年2月12日(水)に開催する。</p> <p>【7 閉会】</p>